

- 1 … FIFAインスペクション 他
- 2 … 各専門委員会・各種別委員会 今年度の狙い
- 3 … 財埼玉県サッカー協会は
フェアプレー日本一をめざします。
- 4 … SFAミッション実現に向けて
- 6 … 千葉国体を振り返る
- 8 … 大会記録
- 15 … 市町村協理事長会議 他
- 16 … インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18 雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/ (年間購読料 1500円)

FIFAインスペクション開催 ～埼玉スタジアムを視察

7月21日、FIFAの視察団が埼玉スタジアムを訪れた。2022年のワールドカップ開催に立候補している国々への視察としては、日本が最初の訪問国。その日本の中でも唯一、既存のスタジアムとして埼玉スタジアムを訪れ、好評価を受けた。SFAからは相川宗一会長が一行を出迎えた。

12月2日のFIFA理事会において、2018年大会と22年大会の開催地が決定されることになっている。現在、埼玉県、浦和レッズ、大宮アルディージャなどがそれぞれで招致活動の機運を高めている。2度目のワールドカップ開催に向けて、サポートをお願いしたい。



西武台高校、沖縄高校総体で3位入賞

7月末に開催された沖縄高校総体において、埼玉第1代表として出場した西武台高校が3位となった。準決勝で滝川第二高校に敗れ、95年の準優勝を上回ることができなかったものの、全国レベルの強豪に対して大きな自信となったことだろう。今回、久々に埼玉県勢が上位に入賞したことは、続く高校選手権に向けても明るい話題となった。

※記録ページに総評を掲載



3回戦 西武台 vs 矢板中央



準決勝 西武台 vs 滝川第二

彩の国カップは新鋭・東京国際大学が初優勝

8月29日に決勝を迎えた「第16回彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会」は、初の大学同士の対戦となり、東京国際大学が平成国際大学を2-0で下した。これにより、東京国際大学が埼玉県代表として、天皇杯に出場した。

天皇杯では1回戦、JFLの栃木ウーヴァを破り、浦和レッズと対戦。ここでは力の差を見せつけられたが、東京国際大学にとっては大きな一歩となった。

〈決勝〉

東京国際大学 3 (2-0) (1-1) 1 平成国際大学

得点者：38分・42分 岩井、50分 瀬野(東京国際大学)
78分 高屋(平成国際大学)



決勝 東京国際大学 vs 平成国際大学

2010年度 各専門委員会の「ねらい・目標・具体策」

専門	ね ら い	目 標	具 体 策
フェアプレー・規律	サッカーを楽しくプレーするために	指導者・コーチや選手は、「相手とレフェリーに敬意を払い、判定を尊重する」	・登録全チームを指導する ・試合時に放送(アナウンス)にてフェアプレーを推進する ・主催大会のプログラムにフェアプレー推進の広告を掲載する(3P参照)
技 術	将来を見据えた選手の育成	①各種別の指導者資質・環境の向上 ②大会の見直し(リーグ戦を重視)	①3種の指導者不足改善 (中学のインターンシップ制度を強化) ②各種別委員会と連携しながら実施
財 務	SFAの将来に向けて	①公益法人制度改革に向けて、この2年間でSFAとしての方針を決定する ②各市町村協会との連携 ③他競技団体との連携	①財政基盤の見直し、整備 自主財源の確保と有効活用 SFAの将来構想づくり 技術・各種別委員会と連携した大会整備 ②登録制度の見直しを検討(第1次承認を市町村FAで) ③他競技団体との座談会やイベントの実施
総 務			
施 設			
審 判	楽しく、のびのびとプレーするために	説得力のあるレフェリングをする(リスペクトプログラムの推進)	各カテゴリー審判員数の確保と資質向上のために市町FA並びに各種委員会・連盟との連携を図る
医 事	健康で楽しく、活気あるプレーをするために	怪我・病気の予防とサポート	・科学委員会と連携した予防に関する取り組み ・県内スポーツ病院マップの作成
科 学		怪我・病気の予防と身体的発達・競技力向上のサポート	・医事委員会と連携した予防に関する取り組み ・調査研究と技術委員会と連携した情報発信
広 報	SFAミッション、SFAの取り組みを理解していただくために	SFAとしての情報を正確に素早く発信する	・SFAニュース、ホームページの改善・検討 ・タウンミーティングの推進・強化

2010年度 各種別委員会の「ねらい・目標・具体策」

専 門	ね ら い	目 標	具 体 策
1 種	チームと個人の強化 運営と審判の充実	5年以内のJFL参加チームの育成 3年以内の国体チームベスト4以内	技術向上のための指導者技術講習会の開催 運営向上のためのマッチコミッサー研修会の開催 審判向上のためのチーム1名以上の3級審判員の育成 フェアプレー精神の向上のためのフェアプレー活動の徹底
2 種	日本サッカーのレベルアップと発展のために選手の育成、強化を図る	①若手指導者の育成 ②2種リーグ戦の改善	①若手指導者研修会の実施 ②既存の大会方式と年間スケジュールの見直し
3 種	指導体制の充実	①中学校教員を対象としたライセンス制度の整備 ②外部指導者派遣制度の導入 ③3種リーグ設立に向けてのアプローチ	①D級講習会の増設(学校施設利用・例/土曜午後) (目標:年間60名を養成) ②関係者の理解・協力を得て外部指導者の増員を図る 未経験顧問への優先的派遣 (目標:年間50名20校へ派遣) ③東西南北リーグの整備(FA登録全チーム参加体制の確立)
4 種	全ての子どもたちにチャンスを与える	①4種リーグ(子どもの公式の遊び場)の充実 ②指導者養成コースの整備 ③指導者リフレッシュコースの整備	①全チームに参加を促す ②子どもへのデモンストレーションができる指導者を養成 ③暴言を吐くような指導者を無くす
女 子	登録メンバーを増やす	2年後に県内登録者数全体の5%まで女子選手登録者数を増やす	・4種と3種年代の連携 ・中・高の女子サッカー部の数を2倍にする
シニア	いつまでも健康でサッカーを楽しむ	①フェアプレー精神の尊重 ・フェアな言動・行動 ・相手選手や、レフェリーに対する友愛・尊敬の念 ②シニアリーグの充実 ・ファイナルとしての受け皿を整備 ③登録選手2,000人	①いつまでもピッチに立つ ・怪我をさせない、怪我をしないプレー ・説得力のある信頼されるレフェリング ②各カテゴリーにあったゲームを楽しむ ・シニア40・50リーグの1部・2部制への移行 ・シニア60・65・ロイヤルのチームを増やす ③一緒にプレーする仲間を増やしていく
フットサル	自主運営のリーグ開催	一部・二部・女子リーグの組織の見直しと各チームでの自主運営を目指す	各リーグカテゴリー毎に運営役員の組織化・運営実施のマニュアル作成・連盟指示のもと、完璧な自主運営を目指す

(財)埼玉県サッカー協会は、 **フェアプレー日本一**を目指します。

「埼玉県サッカー協会は、フェアプレー日本一を目指します。

フェアプレーとは、ルールを遵守し審判と相手選手を尊重して、正々堂々と全力でプレーすることです。観客の皆様にも、このフェアプレーの精神をご理解いただき、選手への熱いご声援をお願いいたします」



フェアプレーはまず握手から。審判と相手チームをリスペクトしましょう。



(財)埼玉県サッカー協会 フェアプレー・規律委員会

特別座談会～SFAミッション5

「指導者養成事業の拡大」を考える ―3種・中体連の現場から

出席者 都所亮介（県中体連副委員長・県立伊奈学園中学校）
西川誠太（科学委員長、技術委員会インストラクター・平成国際大学）

小松 工（県中体連技術部長・さいたま市立慈恩寺中学校）
高橋 明（広報委員長）

3割にも大学生を送りたい

高橋 今日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

さて早速、本題に入らせていただきます。ご存じの通り、SFAが全国に先駆けて始めた4種リーグが4年目に入りました。この4種リーグに参加してくれた子どもたちが、そのまま3種、2種、1種とサッカーを続けてくれるといいのですが、アンケートを採りましたところ、直近である3種、中体連の部活には指導者が70%足りないという結果が出ました。そこで指導者養成、特に3種のところが急務だと考え、シニアの外部指導者、出前でのD級ライセンス講習会、そして大学生によるインターンシップ制度を開始しました。

この現状を踏まえて、まず一言ずついただけますか。

都所 中体連にとって、どの制度もありがたいものです。400校近くある中で7割の中学校で指導者が不足しているのが実状ですが、どの学校にもサッカーをしたい子どもはいます。指導者が来てくれれば、子どもにとっても指導現場にとっても喜ばしいことです。実際、外部指導者やインターンシップを受け入れている中学校からは「ありがたい」という声を聞いています。何よりも、授業が終わってすぐにサッカーができるということは、すばらしいことです。



都所亮介氏

出前講習会ですが、来年度に向けて、4地区それぞれ1回は開催してほしいと投げかけているところです。本来、もっと勉強してほしいのですが、多忙ということもあり、なかなか足が向かないということもあります。ですが、数多く企画していただけるとありがたいと思っています。

あと、レッズのハートフルクラブでの巡回指導を落合さん（弘氏）を中心に出向いていただいています。

小松 7割で指導者が不足しているという結果についてですが、残りの3割も、どこまで指導できているのでしょうか。ライセンスを持っても、我々も含めて、まだまだ勉強しなければならないと思っています。中体連でも講習会をするのですが、特に若い指導者が少ないですね。



都所 中体連はライセンスが無くても、顧問でいられますからね。また勉強するにも講習会を受講するにも、お金のかかることです。難しいところです。

小松 もちろん、勉強したい人もいらっしゃると思います。ですから、もっと魅力のある講習会を開催することが、私の立場での課題でしょうか。

西川 インターンシップの講師をさせていただいています。高橋さんから「7割不足している」という話がありました。私も大学の教員をしながら中学（埼玉県）の指導をしてお二人も含めていろいろ話をさせてもらいましたが、とにかく中学校の教諭の皆さんは忙しいという印象です。ライセンスを持っても、毎日練習に出ることができないと聞いています。そこで個人的に思っていることですが、足りないという7割の指導現場にも大学生を送りたいのですが、あとの3割にも送りたいのです。



小松 工氏

というのは、7割足りないということも衝撃的ですが、足りているという3割の指導現場でも、本当に子どもたちは恵まれているのでしょうか。そういうところにも大学生が入っていき、中学校の先生のお手伝いができればと思うのです。学生側にとっても、ライセンスを持っている指導者の下でコーチングを学び、ディスカッションができれば、いい経験になると思いますね。

高橋 指導者としても、大学生が学べるということですね。

西川 そうです。大学の監督という立場から言うと、せっかく選手として大学に入ってきてくれても、トップチームでは難しいと肩を叩かなければならないことがあります。そうすると、サッカーから離れてしまうんですね。でも、4年間の中で運営や審判、指導者など周辺のことに関わることができれば、サッカーに対しての視野が広がると思うのです。実際「指導者としてやってみたい」という学生が出てきました。この制度を利用して、中学校へ行き、その流れで中学校の先生になってもらえればバターですが、他のことにも波及するのではないのでしょうか。

指導現場を理解する―インターンシップの特徴

都所 受け入れる側としては、指導者がいないところに来てもらえることはありがたいことです。一方で、これまで選手としてやってきた学生にとって、選手も少なく、その選手の技術も低いという環境の中でイヤになることはないのでしょうか。もちろん、そういう現場に出ることも勉強だとは思いますが。

西川 今のところないですね。というのも、既存のC級ライセンスの講習会ではないからです。インターンシップ講習会ということが、その防波堤になっていると思います。ここでライセンスを取るというのは、中学校へ行くのを前提にしていますから。

小松 中学校の現状は伝えているということですね。

西川 そうです。講習会でそういう話をしています。相当言いますね。

小松 それはありがたいですね。

西川 2回目の指導実践は、実際に中学生を対象に行いました。また、派遣する際も、一人ではなく複数のグループにして、誰かが指導に行くことができるようにしています。大学生も忙しいで

すからね。

都所 それは知りませんでした。仲間がいれば、相談もできますね。

小松 学生の数だけ、いろいろな指導が受けられるじゃないですか。

高橋 窓口や派遣は県教育委員会で行ってもらっています。受け入れる中学校にとって、そういう安心も必要ですね。JFAにも教材費を無料にしてもらうなど、協力してもらっています。また、他の種目でも同様なことをやっていますし、我々としても他種目の競技団体とのタイアップを考えているところです。あと、インターンシップの受け入れ先としては、指導できなくても熱心な顧問がいるといい関係が作れるようですね。

都所 サッカーからいい情報発信ができるといいですね。また、教員は異動があるので、そこに地域の人に関わってくるとよくなるのですが。

西川 できれば、大学生は卒業するまで同じ中学校を指導させてもらえるといいですね。新任の顧問の先生の考え方もあるでしょうが。中学校に大学生を送るプロセスは、もう少し改善の余地があると思っています。

高橋 大学生も徐々に増えてきています。大学生を出してくれる大学も増えています。

都所 教育系の大学には、もっと参加してほしいですね。

西川 教育系だからこそ、現場で起こるリスクなどを考えているのかもしれませんが。また、似たような制度を持っている大学もありますからね。



西川誠太氏

指導者として部としての魅力をどう打ち出すか

高橋 さて、現場を持っている指導者の皆さんは、JFAの「世界のトップ10」を目指すというようなビジョンについてどう思っていますか。

小松 そこまで見据えているのでしょうか。あまり意識をしていないのではないと思いますね。

都所 意識するためには、もっとサッカーを身近に感じる人が増えてこないといけないと思いますね。でないと、指導者の質が上がらないような気がします

西川 ベスト10の話は、ベクトルであって、アプローチの仕方はそれぞれの立場でいろいろあっていいと思います。中学3年間の指導がその選手の10年後、20年後に繋がるという見方は同じではないでしょうか。「何年後に、いい選手に」ということと「何年後に、いい人間に」というのは、基本的には同じだと思いますね。ただ、人間教育に重きを置いているとしても、13～15歳の選手を指導しているのですから、サッカーにおいても5～10年先は見据えたサッカーの指導を心掛けたいものですね。

都所 スパンの長い話ですね(苦笑)。そういうことを理解した、意識の高い指導者が増えてくれればと思います。そのために、特に若い指導者は自分の競技者としての経験だけでなく、確かな知識・理論を身につける意味で、資格取得や講習会に、積極的に参加してほしいですね。

西川 講習会に人が集まらないからといって講習会をやめてしまったら何も変わらない。水は出し続けないと一情報を提供できる場を用意しておかないといけないと思います。その状態を維持し続けることが、「情熱」として相手に伝わるのではないのでしょうか。無関心だった人がいつか関心を持ったときに、ふりむけばすぐそこに水が出ている。学ぼうと思えた時が伸び時です。



それは中学生の指導と一緒にですよ。話を聞かないからといってあきらめないでしょ。

都所 西川さん、インターンシップ以外のところの指導者養成をどうすればいいと思っていますか？

西川 よく「今年はいいい選手がいるからいい」とか「今年はダメだ」という声を聞きます。僕はあまり言いたくないフレーズなんです。(指導者の)僕はずっといるじゃないですか(笑)。良い指導者=良い選手を集める人ではなくて、やはりコーチングを基本に置きたいですね。「環境を整えればできる」ではなくて、その環境を自ら整えられる指導者の養成が求められるのでは。

都所 いい素材がいなくてこそ、腕の見せ所だと思うのですが。

小松 そうですよ。「今と昔では選手が違う」という声も聞かれますが、それは指導者の指導云々の比較ではないんですよ。

西川 それは部活ではなく、クラブに子どもが流れているということですよ。では、なぜクラブに子どもたちが流れているのでしょうか。部活に魅力がないと思われているのかもしれませんが。部活には部活にしかない魅力があって、それを打ち出すべきだと思います。

高橋 まとまりませんが、最後に一言ずついただきますでしょうか。

都所 年間を通じてのリーグ戦文化が広がっていけば、審判や運営も基本的には自主運営になっていくでしょう。いろいろなチームが参加できるようにするためにも、地域の人や大学生に、もっと3種年代に関わっていただきたいですね。そして、その地域で審判・運営面を含めた指導者育成ができればと思います。今日はアイデアをいただいたので、もっと中体連でも話をしていきたいですね。

小松 魅力ある講習会をしていきたいですね。情熱を持った指導者が一人でも多く増えてくれればと思います。そういう指導者が魅力あるチームを作ってくれればいいですね。

西川 依頼があれば、中体連に対しては全面的に協力していきたいと思っています。インターンシップも、中体連にお世話になった恩返しだと思って取り組んでいます。今後ともよろしくお願いします。

高橋 ちょっと話が大きくなったかもしれませんが、もっと具体策について話をしていかなければいけませんね。それにしても考え方を伝達していくことは、難しいものです。中体連もSFAも同じです(苦笑)。ぜひ、中体連の皆さんとはタウンミーティングをしましょう。少人数でもいいですから、広げていきましょう。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。



高橋 明氏

少年男子は2回戦敗退、女子は1回戦での敗退～第65回千葉国体

9月26日から「ゆめ半島千葉国体」が開催され、埼玉からは女子と少年男子が出場した。女子は1回戦で静岡と対戦し、3対0で敗れた。少年男子は1回戦、広島に2対1で勝利したが、続く2回戦の愛媛戦では、ロスタイムに失点を許し、1対2で惜敗した。

【女子】

●千葉国体

1回戦 埼玉県 0－3 静岡県

※優勝は千葉県

●関東ブロック大会(群馬県)

代表決定戦 埼玉県 3－0 栃木県

※関東代表として本大会出場



国体1回戦 埼玉県 vs 静岡県



関東ブロック大会 代表決定戦 埼玉県 vs 栃木県

長谷川暁雄監督

3年前に私が国体のスタッフに入ったのは、将来的にレッズレディース抜きで挑むことを見据えてのことでした。しかし、なかなか準備が進まないまま、今年から日程の関係でレッズレディースが出場できなくなりました。準備不足の中、大学生中心の編成で大会に臨みました。結果的には、私がやりたい、考えながらつなぐサッカーが浸透させられず、大きな展開の多いサッカーのなったことが敗因だと思っています。ポリシーがぶれてしまったということです。また、ボールの奪い方、DFラインの位置など細々としたことの確認を求められましたが、練習の中でつかんでもらおうと思い、イメージを持たずに指導していたことは、私の経験不足だったと思います。

関東ブロック大会は、いいゲームができて突破することができました。前日に対戦する栃木の試合を見ることができたことで安心感もあったと思います。それが本大会は情報がないまま、ただ「静岡は上手い」という話が飛び交い、さらに開始早々に失点してしまったことから、相手の懐に入れず自由にプレーをさせてしまいました。

他県を見ていて思ったことは、当たり前前のプレーがきちんとできているということです。昨年までのレッズレディースができていたことから、そのレベルをスタンダードと考えていましたが、埼玉ではまだまだ基本技術の習得が不足していると言っているでしょう。U-12年代から技術はもちろん、判断してサッカーをすることを身につけられるよう働きかけていきたいと思っています。関係者の皆様、ありがとうございました。

女子 本大会・関東ブロック大会

監督	長谷川暁雄	久喜高校
1	GK 田尻 有美	浦和レッズ JrY レディース
2	DF 三浦 真澄	武蔵丘短期大学
3	DF 金箱 紗奈	日本体育大学
4	DF 矢島 由希	尚美学園大学
5	DF 児玉 奈々	神奈川大学
6	MF 吉田 葵	尚美学園大学
7	MF 佐藤はるか	本庄第一高校
8	MF 高橋 花歩	尚美学園大学
9	FW 橋本夏那子	関東学園大学
10	MF 広中 麻美	尚美学園大学
11	FW 池田 貴美	尚美学園大学
12	GK 飯島うなみ	尚美学園大学
13	DF 八島 亜美	戸木南ボンバーズ
14	MF 糸井 翔子	本庄第一高校
15	FW 大滝 彩美	尚美学園大学

【少年男子】

●千葉国体

1回戦 広島県 1－2 埼玉県
得点者：13分 西澤、68分 大谷(広島)、70分 小峯

2回戦 愛媛県 2－1 埼玉県
得点者：4分 金野、62分・70＋4分 松下(愛媛)

※優勝は東京都

●関東ブロック大会(群馬県)

代表決定戦 埼玉県 2－1 栃木県

※関東代表として本大会出場



国体1回戦 埼玉県 vs 広島県



国体2回戦 埼玉県 vs 愛媛県



関東ブロック大会 代表決定戦 埼玉県 vs 栃木県

鈴木 豊監督

レッズの選手が多いことから、レッズでやっている4-2-3-1で取り組んでいましたが、関東ブロック大会で前にかかる枚数が少ないと思い、本大会では4-1-1-4-1に変更しました。ただ雨の中の愛媛戦では、4-4-2にして、積極的に前に仕掛けていけばよかったのではと反省しています。

コンセプトとしては、積極的にボールを取りに行き、攻撃を仕掛けていこうと思っていました。4-2-3-1というのも、攻守において運動量を上げて、一つのプレーに多くの選手たちが関わってくれることをイメージしていました。

愛媛戦では油断があったのかもしれませんが、また、相手チームは早生まれの選手が多く、こちらは能力の高い選手が揃っていましたが、高校1年生ばかりと若い面がプレーに出てしまいました。いわゆるゲーム運びに差が出たと思います。

私はこの年代のトレセンをU-13から見てきましたが、結果的にGKの川田だけ。U-14からFW中山が入り、ここまでやってくれました。長期にわたって見続けたというのは、埼玉では初めてのことでした。こういうことも踏まえてレポートを書きたいと思います。

残念ながら、やりきったという感じはありません。ただ、精一杯やったとは思っています。私自身の経験のなさを痛感しつつも、チャンスをいただけるのであれば、もう一度やらせていただきたいと思います。支えていただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

少年男子 本大会・関東ブロック大会

監督	鈴木 豊	浦和東高校
1	GK 川田 修平	大宮アルディージャユース
2	DF 新井 純平	浦和レッズユース
3	DF 寄特 直人	浦和レッズユース
4	DF 西澤 秀平	浦和レッズユース
5	DF 菊池 翔	大宮アルディージャユース
6	MF 西袋 裕太	浦和レッズユース
7	MF 野沢 英之	FC東京U-18
8	MF 小峯 洋介	浦和レッズユース
9	MF 前田 直輝	東京ヴェルディユース
10	FW 中山 雄希	大宮アルディージャユース
11	MF 中村 駿介	浦和レッズユース
12	GK 河野 隼人	大宮アルディージャユース
13	DF 金野 僚太	浦和レッズユース
14	MF 長谷 優	浦和レッズユース
15	MF 立野 峻平	浦和レッズユース
16	FW 斎藤 涼太	FC東京U-18

※ 関東ブロック大会においては

11	MF 繁田 秀斗	浦和レッズユース
12	GK 高浪 祐希	浦和レッズユース

【成年男子】

●関東ブロック大会 (群馬県)

1回戦 埼玉県 1-0 茨城県
代表決定戦 群馬県 2-1 埼玉県



関東ブロック大会 埼玉県 vs 茨城県

秋山健二 監督

正式な監督依頼があったのが4月中旬ということもあり、準備期間は短かったのですが、その中で集まった選手たちはよくやってくれたと思います。実際、選手全員が揃ったのは、関東ブロック大会の初戦という状況でした。

ただ選手たちは、試合の中でやれることをやりましたし、やらなければならないことをやってくれたと思います。

私たちは、一生懸命、真面目にサッカーをすること、そして社会人としておかしくないプレーをすることをコンセプトとし、選手はしっかり取り組んでくれました。

試合に関してですが、初戦に戦った茨城は、とにかくただ蹴って走るというチームでした。10年ぶりに国体の代表チームを任せいただきましたが、こういう戦い方をするチームが出てくることは、ある意味、驚きでした。選手も私もこういうチームに負けたくないと思い、さらにまとまったと思います。無事、勝利を収めることができました。

続く代表決定戦は、図南SCの単独チームである群馬でした。お互い知った相手ということもあり、差はほとんどなかったのですが、わずかの差で代表を逃してしまいました。

本大会に出場できなかったことは、申し訳ないと思っています。関係者の皆さんには、協力していただいたことに深く感謝を申し上げます。選手たちには、ここでの経験をチームで、また個人として活かしてもらえればと思っています。ありがとうございました。



埼玉県 vs 茨城県

成年男子 関東ブロック大会

監督	秋山 健二	さいたま SC
1	GK 高祖 景一	パイオニア川越
2	DF 熊谷 貴史	ルミノソク狭山
3	DF 吉住 敦	日立ビルシステム
4	DF 石丸 皓三	さいたま SC
5	DF 鎌田 雄	さいたま SC
6	MF 徳島 翔	さいたま SC
7	MF 大野 恭平	さいたま SC
8	MF 大森 直樹	さいたま SC
9	MF 清水 大輔	さいたま SC
10	FW 鈴木 竜基	坂戸シティー
11	MF 奥山 卓郎	さいたま SC
12	MF 柳沢 祐司	パイオニア川越
13	FW 平本 大介	ラストサッカーファミリー
14	DF 栗本 侑季	さいたま SC
15	MF 秋山 健二	さいたま SC
16	FW 宮島 利幸	さいたま SC

大会記録●県内大会

1種

平成22年度彩の国カップ第15回埼玉県サッカー選手権大会

7月18日～8月29日 NACK5 スタジアム大宮他

尚美学園大学	2	3	1	与野八王子クラブ
越谷FC	1	3	1	浦和レッズユース
飯能セボジータス	4	1	3	5 東京国際大学
武南クラブ	2	1	3	2 バイオニア川越
平成国際大学	4	3	1	3 ホンダルミノッソ狭山FC
坂戸シティ	2	3	1	2 クラブ フェニックス
ロクFC天海	2	0	4	4 AC アルマレッザ
さいたまサッカークラブ	11	0	1	1 文教大学

※東京国際大学が初優勝。埼玉県代表として、第90回全日本サッカー選手権大会に出場する。

社会人

埼玉県社会人リーグ1部

●10月3日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	坂戸シティー	38	12	2	1	44	11	+33
2	FC西武台	31	10	1	4	48	23	+25
3	バイオニア川越	28	9	1	5	33	25	+8
4	飯能セボジータス	25	7	4	4	40	26	+14
5	武南クラブ	14	6	1	8	26	47	-21
6	浦和レッズアマ	14	4	2	9	21	28	-7
7	アヴェントゥーラ川口	14	9	1	5	42	31	+10
8	与野八王子	7	2	1	12	19	50	-31
9	与野蹴魂会	6	1	3	11	16	45	-29

第17回全国クラブチームサッカー選手権大会埼玉県大会

5月30日～7月18日 埼玉スタジアム第4他

与野蹴魂会	2	1	4	川口SC
川越わくいFC	1	1	0	毛呂山SCサテーズ
FCリベルテ川口	1	1	1	3 アルドール狭山FC
北坂戸SC	3	1	2	2 FC elf
桶川IIS	4	1	1	1 N.S.SAITAMA1985
浦和UFC	0	3	0	0 サンバ南SC
入間レガートFC	0	9	1	1 深谷クラブ
狭山ラトルズSC	1	2	2	大里FC

※優勝した狭山ラトルズFCは、関東大会に出場する

2010年度埼玉県市町村対抗戦兼県民総体

7月25日～9月5日 川口青木町公園他

入間市	3	2	4	0 八潮市
飯能市	0	4	3	3 川越市
神川町	3	0	5	0 三郷市
熊谷市(江南)	6	1	0	3 所沢市
東松山市	3	0	3	0 川口市
上尾市	2	2	0	0 北本市
熊谷市(大里)	0	3	3	1 富士見市
秩父市	5	2	4	1 蕨市

※優勝は蕨市(初優勝)。フェアプレー賞は川越市。

大学

埼玉県大学リーグ1部

●第12節終了現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	平成国際大学	29	9	2	1	35	8	+27
2	城西大学	28	9	1	1	36	14	+22
3	東京国際大学	25	8	1	2	31	9	+22
4	埼玉大学	15	5	0	6	18	25	-7
5	文教大学	11	3	2	6	16	17	-1
6	獨協大学	9	2	3	7	13	25	-12
7	埼玉工業大学	8	2	2	7	19	25	-6
8	埼玉県立大学	4	1	1	8	9	50	-41

平成国際、獨協のみ第8節を消化

2種

平成22年度学校総合体育大会 兼

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選

5月15日～6月27日 埼玉スタジアム第3グラウンド他

武南	3	2	7	西武台
大宮東	1	2	1	1 深谷第一
浦和南	2	0	0	1 西武文理
川越南	3	3	0	0 川口北
市立浦和	4	2	1	0 本庄第一
山村国際	1	2	2	0 3 埼玉栄
本庄	0	0	1	1 大宮南
正智深谷	4	0	0	0 浦和東

※西武台高校は4年ぶり4度目の優勝。西武台高校と準優勝の市立浦和高校が高校総体に出場する

●平成22年度全国高等学校総合体育大会埼玉県予選を振り返って

高体連技術委員 山崎 稔(入間向陽高校)

平成22年度学校総合体育大会兼高校総体県予選が、プリンスリーグ出場の武南、浦和東、関東大会出場の西武台、正智深谷に、関東予選ベスト8、各支部代表の計46校で行われました。

熱戦が繰り広げられましたが、その中の数試合を観戦した私の感想をまとめて見たいと思います。

各チームとも、いろいろな影響で良く組織され、連動してプレーを行っている印象が強くあります。チーム戦術がどのチームもしっかりと浸透しており、外から見ていてチームの戦い方が良く分かるものが多く感じました。

攻撃面では、DFから縦へのロングボールでFWを走らせる攻撃が多いように感じます。また、FWに楔のパスを入れて攻撃を組み立てるチームもありましたが、なかなか収まらず、リズムを作れずにサイドの選手を走らせDFの背後にロングボールを多用する攻撃が多くなる状況も見られました。そんな中で、ベスト4のチームはポゼッションからサイドを崩す攻撃を仕掛ける場面が多く見られました。中盤の特にボランチの選手が中心となり攻撃を組み立てリズム良くボールを動かす攻撃が見られました。しかしFWの選手が決定的な仕事をこなす場面が少なく感じました。西武台のFWは、チームの一員としての役割をこなし、個人としてゴールに積極的に向かい局面を開ける力を持っている選手だと感じました。多くのFWの選手が楔のパスを受けて落とすこと意識している中で、常にゴールに仕掛ける姿勢がとても魅力的で期待できる選手ではないかと思います。

守備面では、先ほども述べましたが、良く組織され、連動が徹底されていた印象があります。しかし、人数は揃っているのだが、ボールを持った選手に対して厳しくプレスをかけている場面が少なく感じます。また、組織としてボールを中心とした守備体系を整えてはいるが、わずかなポジショニングのすれから、簡単にバイタルエリアを攻略されたり、間を突破されるケースが多いように思われます。ボールの奪いどころで奪えなかったり、プレスしているつもりでも、相手にとっては何のプレッシャーにもなっていない状況が多く見受けられました。また、マークの受け渡しのタイミングがしっかりと出来ず、DFラインがゴール前に簡単に下がってしまう場面も多いと思います。

GKを含めた守備では、良くトレーニングされている感じを受けました。上位校の多くがGKコーチがいましたが、GKトレセン等の効果もあるのではないかと思います。シュートストップやDFラインと連携をして、背後のスペースのケアやブレイクアウェイなどのプレイは全体的に著しく向上していると思います。しかし、CKを含めたクロスのボールに対しての対応には課題が残ると思います。GKの守備範囲の狭さや、DFと連携しての守備に今後の課題があると思います。

攻撃に関しては、埼玉県の選手の技術レベルは他県と比較しても見劣りはしないと思います。守備の個人の技術や戦術、チームとしてのレベルアップを図る必要があると感じました。

決勝戦は、西武台高校とさいたま市立浦和高校のチームで埼玉のトップを決めるにふさわしい好ゲームが展開されたと思います。

この2校には埼玉の代表として、沖縄の地で旋風を巻き起こしてもらいたいと思います。



全国高等学校総合体育大会埼玉県予選 決勝 西武台 vs 市立浦和

U-18 埼玉県リーグ<S1リーグ>

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	西武台	16	5	1	1	24	10	+14
2	埼玉栄	13	4	1	2	10	6	+4
3	浦和南	12	4	0	3	17	9	+8
4	大宮南	10	3	1	3	9	7	+2
5	川越南	10	3	1	3	10	12	-2
6	市立浦和	9	3	0	4	13	13	0
7	大宮東	9	3	0	4	9	17	-8
8	東農大三	3	1	0	6	4	22	-18



S1リーグ 西武台 vs 埼玉栄

U-16 埼玉県リーグ<TOPリーグ>

●途中経過

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	西武台	20	6	2	2	36	17	+19
2	大宮アルディージャ	17	5	2	1	23	10	+10
3	正智深谷	16	5	1	1	26	10	+16
4	浦和レッズ	13	4	1	1	19	5	+14
5	成徳深谷	12	4	0	3	13	11	+2
6	川越南	13	4	1	4	14	23	-9
7	埼玉栄	9	2	3	1	15	14	+1
8	大宮東	7	2	1	4	8	13	-5
9	浦和東	8	2	2	6	10	33	-23
10	武蔵越生	4	1	1	4	4	14	-10
11	花咲徳栄	0	0	0	8	7	25	-18

3種

2010年第4回埼玉県ユース(U-15)リーグ

●9月18日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	カマイJr	21	7	0	0	25	4	+21
2	KASUKABE	16	5	1	2	23	15	+8
3	クマガヤSC	14	4	2	2	15	5	+10
4	三郷Jr	11	3	2	2	11	6	+5
5	ディプロマッツ	11	3	2	2	9	9	0
6	武南Jr	9	3	0	4	12	11	+1
7	大宮FC	9	3	0	3	10	11	-1
8	FC深谷	6	2	0	5	11	17	-6
9	狭山Jr	4	1	1	3	12	14	-2
10	新座二中	0	0	0	8	6	42	-36

※カマイJrの優勝が決定

平成22年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月17日～29日 川越陸上競技場他

さいたま原山	0	1	0	入間野田	0
桶川西	3	5	1	蕨東	1
さいたま宮原	3	6	2	伊奈	4
さいたま大原	2	1	1	さいたま尾間木	5
熊谷富士見	0	1	1	さいたま南浦和	5
鶴ヶ島南	1	0	1	久喜東	1
吉川東	2	1	1	埼玉栄	2
さいたま大谷場	1	0	1	所沢柳瀬	1

※埼玉栄が2年ぶり3回目の優勝。準優勝した宮原中とともに関東大会に出場する



決勝 埼玉栄 vs さいたま宮原



女子

埼玉県女子1部リーグ

●10月3日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	大東文化大学	23	7	2	1	35	8	+27
2	尚美学園大学	9	3	0	0	15	1	+14
3	尚美学園大学ピックス	9	3	0	2	15	4	+11
4	エルフェン狭山マリ	7	2	1	0	9	1	+8
5	FC.JAM-G	7	2	1	4	11	25	-14
6	上福岡女子SC	6	2	0	3	10	13	-3
7	大宮FCエンジェルス	1	0	1	4	0	12	-12
8	戸木南ボンバーズFC	1	0	1	5	5	36	-31

第30回埼玉県女子サッカー大会 兼 第32回関東・全日本女子サッカー選手権大会予選

6月6日～7月11日 埼玉スタジアム第3他

代表決定戦

尚美学園大学(一般1位)	6	6	尚美学園大学
久喜高校(高校2位)	1	3	
本庄第一高校(高校1位)	1	3	
エルフェン狭山マリ(一般2位)	不戦勝	3	

※優勝した尚美学園大学が関東大会に出場する



決勝 尚美学園大学 vs エルフェン狭山マリ

第6回埼玉県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 兼 第14回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会予選

7月18日～8月29日 埼玉スタジアム第4他

浦和レッズJrユースレディース

浦和レッズJrユースレディース	4	5	2
白岡SCL	0	1	0
久喜高校	1	5	0
埼玉平成高校	1	5	1
本庄第一高校	4	2	2
FC熊谷女子	0	2	1
エルフェン狭山マリ	3	6	1
FC JAM-G	0	6	1

※優勝は浦和レッズジュニアユースレディース

平成22年度埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会

8月24日～9月19日 東松山・岩鼻陸上競技場他

本庄第一

本庄第一	17	3	2
北本	0	1	0
庄和	2	0	3
和光国際	0	0	2
浦和西	2	3	0
花咲徳栄	8	0	1
市立浦和	0	1	0
淑徳与野	0	2	0
埼玉栄	6	3	0

埼玉平成	2	0	3
入間向陽	0	1	0
松山女子	3	0	2
山村国際	2	0	1
熊谷女子	0	1	0
浦和一女	1	1	0
川口総合	0	1	0
浦和実業	0	0	6
久喜	3	0	0

5・6位決定戦

浦和西 2-0 松山女子

7・8位決定戦

花咲徳栄 6-0 熊谷女子

※優勝は本庄第一高校



決勝 本庄第一 vs 久喜

埼玉県U-15 1部リーグ

●9月25日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和レッズJr	31	10	1	0	69	2	+67
2	FC熊谷女子	21	6	3	2	31	12	+19
3	大宮U-15	21	6	3	1	22	5	+17
4	河内ジュベニール	20	6	2	3	28	20	+8
5	エルフェンマリ	20	6	2	3	24	17	+7
6	白岡SCL	16	3	7	1	20	11	+9
7	戸木南ボンバーズ	15	3	6	2	22	17	+5
8	SRフィリアFC	12	3	3	5	18	25	-7
9	越谷レディースF	8	2	2	7	9	27	-18
10	大宮U-14	7	1	4	6	8	22	-14
11	パシールFC	6	1	3	7	17	45	-28
12	FC JAM-G	0	0	0	10	3	68	-65

第8回JFA関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会 埼玉県代表決定トーナメント

7月10日、11日 毛呂山町総合公園グラウンド

寄居女子S.C.

寄居女子S.C.	1	3	1
戸塚FCガールズ	2	1	0
蕨我キッカーズ	5	3	0
狭山アゼリアFC	0	0	0
川越女子Jr.SC	3	1	0
浦和ラッキーズFC	0	3	0
S.C.和光ベレーザ	6	1	0
上里女子FCパワーズ	0	1	0

戸木南ボンバーズFC

戸木南ボンバーズFC	0	1	0
TSガールズ	6	0	0
吉川L.キッカーズ	0	0	0
FC熊谷女子	4	10	0
吉見エスカーラFC	5	2	0
東大宮エンジェルス	6	0	0
SEフィリアFC	0	0	0
上福岡少年少女SC	0	0	0

※優勝した戸木南ボンバーズを含む上位4チームが関東大会に出場

シニア

シニア40南部リーグ

●10月3日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	新明	25	8	1	2
2	パルス	25	8	1	2
3	浦和	25	8	1	3
4	越谷	22	7	1	3
5	NTT	20	6	2	4
6	所沢	18	5	3	3
7	八潮	18	5	3	3
8	与野	17	4	5	3
9	鴻巣	15	4	3	4
10	蕨	14	4	2	5
11	川口	13	4	1	6
12	川越	12	3	3	5
13	東春	5	1	2	8
14	大宮	4	1	1	9
15	戸田	4	1	1	9

シニア40北部リーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	鳩山	38	12	2	1
2	東松山OP	33	10	3	2
3	東松山	32	10	2	3
4	秩父	32	10	2	3
5	児玉	31	9	4	2
6	本庄	30	9	3	3
7	熊谷	26	7	5	3
8	行田	23	7	2	6
9	小鹿野	21	6	3	6
10	深谷	20	6	2	7
11	セントラル	15	4	3	8
12	めめま	11	3	2	10
13	寄居	9	2	3	10
14	小川	8	2	2	11
15	吉見	7	2	1	12
16	クマガヤ	4	1	1	13

シニア50サッカーリーグ

●第18節終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
1	NTT	46	15	1	1
2	与野	40	13	1	3
3	パルス	34	10	4	3
4	市高	34	10	4	3
5	深谷	33	10	3	4
6	東松山	33	10	3	4
7	川口	32	9	5	4
8	川越	28	7	7	3
9	所沢	28	8	4	5
10	鴻巣	24	7	3	7

順位	チーム名	勝点	勝	分	負
11	本庄	20	5	5	7
12	東春	18	4	6	7
13	越谷	17	4	5	8
14	熊谷	15	3	6	8
15	大宮	14	4	2	11
16	浦和	12	3	3	11
17	セントラル	10	2	4	11
18	蕨	7	1	4	12
19	戸田	4	0	3	13

シニア60リーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	F F C	27	9	0	1	27	6	+21
2	パルス	15	5	0	5	17	16	+1
3	Gファイター	10	3	1	6	7	18	-11
4	ボラリス	7	2	1	7	6	17	-11

65リーグ

さくら 8勝2敗0分 けやき 2勝8敗0分

ロイヤルリーグ・65リーグ

さくら 7勝2敗1分 けやき 2勝7敗1分

フットサル

埼玉県フットサルリーグ1部

●9月20日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	烏天狗	21	7	0	1	56	23	+33
2	IMPERIO	19	6	1	0	22	10	+12
3	THOMAS FC	18	6	0	2	30	18	+12
4	坂戸龍門	13	4	1	2	33	22	+11
5	マカブ〜	13	4	1	2	32	22	+10
6	Mf	10	3	1	3	23	27	-4
7	FFC Estrela	7	2	1	4	17	25	-8
8	F&F	6	1	3	4	24	36	-12
9	pal'u:wo	4	1	1	5	24	34	-10
10	ロクFC	4	1	1	5	12	28	-16
11	FC川越	0	0	0	7	22	50	-28

第16回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

8月7日〜9月12日 春日部市立庄和体育館アリーナ他

Cano A	7	10
ロクFC A	0	3
HERMANOS A	4	0
川越プロスU-15	4 vs	
BUBBLE Asaka	2	3 vs
フォルチFC C	0	2
Cano B	2	3
フォルチFC B	6	

※優勝した Cano A が関東大会へ出場する

バーモントカップ2010

第20回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

8月8日〜9月12日 春日部市立庄和体育館他

新座エースFC	2	10
江南南サッカー少年団	5	7
FCクラッキ	4	0
北葛	1	
Cano B	0	0
美女木FC	4	1
FC ロスエルマーノス	1	6
アビリスタ	6	

※優勝した江南南サッカー少年団は全国大会に出場する

埼玉県女子フットサルリーグ

●7月25日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	武蔵丘短大	21	7	0	0	105	10	+95
2	Aventura	18	6	0	0	69	3	+66
3	dolce de donna	9	3	0	2	35	16	+19
4	武蔵浦和FC	9	3	0	2	23	28	-5
5	CHU-BAR	9	3	0	3	15	29	-14
6	り〜すなぶる。	9	3	0	3	14	30	-16
7	I.F.C./ems	6	2	0	3	17	28	-11
8	FUKAYA	6	2	0	4	10	29	-19
9	FILHO Ladies	4	1	1	4	4	46	-42
10	ロクFC Grama	2	0	2	4	1	37	-36
11	chechio	1	0	1	5	1	38	-37

第7回全日本女子フットサル選手権大会2010 埼玉県大会

8月7日〜21日 ぐるる宮代他

FFC Estrela NOVO 埼玉	1	武蔵丘	5	dolce da donna
chechio	1	短大	1	I.F.C./ems
武蔵浦和FC	2	1	6	CHU-BAR Futsal
FILHO Ladies	不戦	0	2	1
Aventura			4	武蔵丘短大

※優勝した武蔵丘短期大学シエンシアは関東大会に出場する

大会記録●県外大会

1種

第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会

9月3日、5日 駒場スタジアム他

1 回戦	東京国際大学	3 - 1	栃木ウーヴァ
2 回戦	浦和レッズ	7 - 0	東京国際大学
	大宮アルディージャ	4 - 1	カマタマーレ讃岐

1種・社会人

関東社会人リーグ

●全日程終了

1部リーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	さいたまSC	23	7	2	5	26	17	+9
8	ACアルマレッザ	9	3	0	11	17	43	-26

2部リーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
8	ルミノソックス狭山	18	5	3	6	20	32	-12

ベストイレブン (県内関係分)

MF 大野 恭平(さいたまSC)
MF 清水 大輔(さいたまSC)



1部リーグ
AC アルマレッザ vs さいたま SC

第46回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選

6月27日〜7月11日 各地

A	坂戸シティー	1 - 1	Y.S.C.C
		(5PK 4)	
	坂戸シティー	3 - 0	荻崎アストロス

※坂戸シティーは全国大会に出場

C	さいたまSC	3 - 1	東京海上日動火災保険
	越谷FC	1 - 6	S.C.相模原
	さいたまSC	0 - 3	S.C.相模原
D	ホンダルミノソックス狭山	1 - 2	tonan前橋サテライト
E	パイオニア川越	0 - 1	T.F.S.C
F	ACアルマレッザ	3 - 0	鹿島さわやかFC
	ACアルマレッザ	0 - 0	ヴェルフェたかはら那須
		(3PK 5)	

第17回全国クラブチームサッカー選手権大会関東大会

9月18〜20日 鹿沼自然の森サッカー場他

1 回戦	狭山ラトルズSC	3 - 1	カミーザ・ドゥジューFC
準決勝	狭山ラトルズSC	5 - 1	忍野FC
決勝	F C駒沢Griffin	0 - 0	狭山ラトルズSC
		(5PK 4)	

※準優勝の狭山ラトルズSCは全国大会に出場

1種・自治体

第40回全国自治体職員サッカー選手権大会

7月23日〜29日 ニンジニアスタジアム他

2 回戦	郡山市役所	0 - 1	さいたま市役所
3 回戦	中津市役所	1 - 0	さいたま市役所

※優勝は藤枝市役所(2年ぶり26回目)

1種・大学

JR東日本カップ関東大学サッカーリーグ戦

●2部リーグ 第16節終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	専修	36	12	0	4	+31
2	東京学芸	28	7	7	2	+18
3	青山学院	28	8	4	4	+11
4	東海	28	8	4	4	+6
5	東洋	28	7	7	2	+5
6	朝鮮大学	21	6	3	7	-8
順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
7	日本体育	19	5	4	7	-2
8	桐蔭横浜	19	6	1	9	-13
9	國學院	16	4	4	8	-5
10	尚美学園	16	4	4	8	-16
11	関東学院	14	3	5	8	-5
12	東京農業	11	2	5	9	-22

2 種

JFAプリンスリーグU-18 関東

●全日程終了

1部リーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	FC東京 U-18	29	9	2	0	21	7	+14
2	流通経済大学付属柏高校	24	7	3	1	23	9	+14
3	浦和レッドダイヤモンズユース	20	6	2	3	23	12	+11
4	東京ヴェルディユース	19	5	4	2	26	14	+12
5	三菱養和サッカークラブユース	17	5	2	4	20	16	+4
6	横浜F・マリノスユース	16	4	4	3	28	20	+8
7	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	16	4	4	3	4	4	0
8	桐光学園高校	15	4	3	4	11	11	0
9	市立船橋高校	12	3	3	5	12	17	-5
10	八千代高校	7	1	4	6	10	28	-18
11	湘南ベルマーレユース	5	1	2	8	7	27	-20
12	武南高校	1	0	1	10	6	26	-20

2部リーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	大宮アルディージャユース	25	7	4	0	22	7	+15
2	鹿島アントラーズFCユース	24	7	3	1	22	10	+12
3	桐蔭学園高校	21	6	3	2	24	11	+13
4	前橋育英高校	20	6	2	3	27	17	+10
5	成立学園高校	20	6	2	3	19	15	+4
6	川崎フロンターレU-18	15	5	0	6	29	18	+11
7	幕張総合高校	14	4	2	5	19	23	-4
8	佐野日本大学高校	12	3	3	5	17	26	-9
9	矢板中央高校	11	2	5	4	17	18	-1
10	浦和東高校	10	3	1	7	10	19	-9
11	鹿島学園高校	7	2	1	8	13	29	-16
12	日本航空高校	5	1	2	8	8	34	-26



プリンスリーグ 浦和レッズ vs 武南高校

2 種・高体連

平成22年度 全国高等学校総合体育大会

美ら島沖縄総体 2010

8月1日～7日 与那城総合公園陸上競技場他

1 回戦	開志 J S C	0 - 3	西武台
	鹿児島城西	2 - 1	市立浦和
2 回戦	西武台	1 - 0	尚志
3 回戦	矢板中央	1 - 3	西武台
準々決勝	西武台	1 - 0	米子北
準決勝	滝川第二	4 - 0	西武台

※埼玉県勢のベスト4入りは15年ぶり

●2010沖縄総体 技術派遣報告1

高体連技術委員 鈴木 豊 (浦和東高校サッカー部顧問)

今大会は絶対的な優勝候補がなく、どのチームが勝ち上がってもおかしくない大会であったように思われる。しかし、力の差がはっきりしている対戦は一方的な試合になることも多かった。自分が観た試合がたまたまかもしれないが、各チーム、チームコンセプトをしっかりと、1試合通じてそれを徹底している。例えば、粘り強く守って速攻型のチーム。ポゼッション率やシュート数では負けているが、結果的には1-0や2-0で勝ちきってしまう試合が多かった。最近の流行で中盤のポゼッションにこだわりをもつチームも多くあったが、横パスやリスクを冒さないバックパスなどが多く、バイタルエリアの攻略やクロスの精度の低さから得点につながらないチームもあった。

総体期間中の天気が悪いという予報だったが、31日からは快晴が続いた。気温は思ったより高くなく、関東のような蒸し暑さはなかった。しかし、南の国特有のスコール?は多くあり、前半雨が降ったと思ったら後半は日差しが指す、この天気の変化に対応するのに選手は苦労したと思われる。

西武台高校について

選手の能力やチーム全体の力から、結果通り全国ベスト4の力があったのではないと思う。FW清水は1回戦から優秀選手に選出され、大会を通じて高い評価を得た。関東大会を制したときも同じであったが、清水とFW佐々木やボランチ末松のコンビが冴えると爆発的な得点力を発揮する。一方、守備の面では不安を抱える場面が多かった。DFラインの背後に出されたボールの処理やドリブルで仕掛けてくる相手への対応、バイタルをショートパスで崩してくる時の判断力(インターセプト・アプローチ・コースの限定)。矢板中央戦では3点リードしながらも、終盤は相手の攻撃に防戦一方であった。1回戦は背後を突破された選手を引っ張ってしまい一発退場、苦戦を強いられた。

●2010沖縄総体 技術派遣報告2

高体連技術部長 福田直史 (鴻巣高校サッカー部顧問)

日差しは強いが風もあり埼玉の方が暑さは厳しいと感じる氣候、西武台は初戦に退場者を出し厳しい戦いになったが、かろうじて勝利を手に入れると自慢の攻撃力を発揮して勝ち上がった。市立浦和は初戦に豪強の鹿児島城西と対戦し、互角の戦いを見せたが残念ながら1点差で敗れた。しかし、本年度は団体の飛行機の関係でほぼすべてのチームが1週間滞在をしなくてはならないことから、負けても次の日からは研修試合が組まれるという試みが行われ、各チームにとってはとてもよい強化合宿になったようである。

西武台は準々決勝でプロ内定が2人いる堅守速攻型の米子北と対戦し、前半相手プレッシャーによりミスが多くピンチもあったが徐々に自分たちのペースをつかみ互角の戦いとなり、後半ロスタイムに見事な速攻から決勝点を奪って勝利し、久々の準決勝進出となった。準決勝は滝川第二と対戦し、前半から相手陣地に入り攻撃を連続するも単調な攻撃が多くカウンターから2トップに前を向かれ対応できず前半2点を失い劣勢に立つ。後半も流れは変わらず、攻めていながら失点をするパターンで追加点を取られ、0-4で敗れて3位で終わった。どのような相手にも主導権を握る力はあったので、攻撃時のリスクマネジメント・ディフェンスの対応力を修正していけばさらに総合力はアップし、選手権大会でも期待が持てると思えた。

今年もディフェンスが安定しているチームが勝ち上がる傾向が強く、リスクを負わないサッカーが主流であり、勝つためのゲームプランを徹底しているチームが多かった。ベンチワークも選手の判断を奪うコーチングも多く、むやみにトップへ早くフィードすることを徹底させる監督もいた。世界のユース育成の試合でそのようなコーチングが果たしてあるのか疑問を感じた。全体にタレントが少なく全員が徹底的に動き回る印象が強かった。

今回、西武台の快進撃の予感があった。昨年より全員がよく動きチームプレーに徹していること。リスクマネジメントの高いゲーム展開を心にかけていること。前線に得点できるタレントがいることなどである。今後、全国大会で優勝を狙うにはさらに個々のレベルアップを図ることと、ディフェンス力のアップを期待する。県内予選も簡単ではない。

追記:準決勝(市立船橋対桐光学園)の主審を塚田君(吉川高校)が落ち着いたゲームコントロールで務めた。今後への期待と彼に続く若手の成長を期待する。



沖縄総体 1 回戦 浦和市長 vs 鹿児島城西



沖縄総体 1 回戦 西武台 vs 開志 JSC



沖縄総体 2 回戦 西武台 vs 尚志

2 種・クラブ

日本クラブユース選手権(U-18)関東大会

6月26日、27日

1～4 位決定戦 浦和レッズ 2-2 東京ヴェルディ (4PK2)
浦和レッズ 3-1 FC東京

※浦和レッズが優勝して本大会へ出場

5～8 位決定戦 ヴァンフォーレ甲府 2-1 大宮アルディージャ
大宮アルディージャ 0-0 柏レイソル (4PK5)

※大宮アルディージャは 8 位で本大会に出場

adidas CUP 2010日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月23日～8月1日 ニッパツミツ沢球技場他

●グループリーグ

順位	Aグループ	勝点	得失差	順位	Fグループ	勝点	得失差
1	浦和レッドダイヤモンズユース	7	+5	1	大宮アルディージャユース	9	+9
2	愛媛FCユース	6	+7	2	ガンバ大阪ユース	6	+10
3	コンサドーレ札幌U-18	4	+13	3	アルビレックス新潟ユース	3	-7
4	グランセナ新潟FCユース	0	-25	4	アビスパ福岡U-18	0	-12

●決勝トーナメント

大宮アルディージャ 2-4 名古屋グランパス
浦和レッズ 0-1 柏レイソル

※優勝は東京ヴェルディユース

3 種・中体連

第41回関東中学校サッカー大会

8月7日～9日 ケーズデンキスタジアム水戸他

1 回戦 藤沢市立村岡中 3-0 宮原中
埼玉栄中 1-1 伊勢崎市立宮郷中 (9PK8)
準々決勝 埼玉栄中 0-1 古河第二中
順位決定戦 韮崎西中 2-1 埼玉栄中
かえつ有明中 0-0 埼玉栄中 (4PK5)

※優勝は藤沢市立村岡中学校。埼玉栄中は関東第7代表として全国大会に出場

第41回全国中学校サッカー大会

8月19日～23日 防府市立陸上競技場他

1 回戦 由利本荘市立西目中 1-3 埼玉栄中
2 回戦 埼玉栄中 4-0 西宮市立塩瀬中学校
3 回戦 常葉学園橘中 1-0 埼玉栄中

※優勝は常葉学園橘中学校

3 種・クラブ

第16回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 兼 第25回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・関東予選

6月26日～7月18日 カシマスタジアム他

1 回戦 坂戸ディプロマツ 0-1 ワセダクラブ Forza'02
GRANDE FC 1-10 FC 多摩 JY
クマガヤ SSC 3-1 VITORIA KAMUI JY
三郷 Jr Youth FC 0-2 柏イーグルス
関南サッカークラブ群馬 0-5 大宮アルディージャ
FC CORUJA 1-2 AZ'86 東京青梅
2 回戦 横浜 F・マリノス 4-1 クマガヤ SSC
浦和レッズ 3-0 横河武蔵野 FC
町田 JFC 0-1 大宮アルディージャ
3 回戦 浦和レッズ 9-0 横須賀シーガルズ
ワセダクラブ Forza'02 2-0 大宮アルディージャ
準々決勝 鹿島アントラーズ 2-1 浦和レッズ

※優勝は横浜 F・マリノス。

adidas CUP 2010日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月14日～23日 Jヴィレッジ

●グループリーグ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和レッドダイヤモンズユース	7	2	1	0	5	2	+3
2	FCひがしJユース	4	1	1	1	6	5	+1
3	FCみやぎバルセロナ	3	1	0	2	3	6	-3
4	ヴィッセル神戸U-15	2	0	2	1	3	4	-1

●決勝トーナメント

ラウンド16 浦和レッズ 3-0 ガンバ大阪門真
準々決勝 横浜 F・マリノス 1-2 浦和レッズ
準決勝 清水エスパルス 2-1 浦和レッズ

※優勝は清水エスパルス

4 種

埼玉国際ジュニアサッカー大会 2010

7月23日～25日 埼玉スタジアム他

●順位決定トーナメント

準々決勝 埼玉県 4-0 群馬県
準決勝 パリ・サンジェルマン 0-1 埼玉県
決勝 埼玉県 2-0 茨城県

※埼玉県選抜が3度目の優勝



決勝 埼玉県 vs 茨城県

第34回全日本少年サッカー大会

8月1日～7日 西が丘サッカー場他

●1次ラウンド

順位	チーム名	勝点	得失差	順位	チーム名	勝点	得失差
1	大宮アルディージャ	13	+21	4	岩瀬FC	5	-2
2	めぐり西町FC	12	+8	5	大社SSC	3	-8
3	兵庫FC	8	+3	6	藍住南FC	1	-22

●決勝トーナメント

1回戦 大宮アルディージャ 0-0 コンサドーレ札幌
(4PK5)

※優勝はバフィーSC (神奈川)

第34回関東少年サッカー大会

8月21、22日 鴨川市陸上競技場他

●予選リーグ

順位	Aブロック	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	FCアビススタ	6	2	0	0	5	0	+5

順位	Eブロック	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	新座片山FC	4	1	1	0	2	0	+2

順位	Gブロック	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和三室SSS	4	1	1	0	6	2	+4

●順位トーナメント

FCアビススタ	1							
フォルトゥナSC	0	1						
鹿島アントラーズ	3		0					
荏崎東SSS	0			0				
新座片山FC	1							
柏イーグルス	3	1						
浦和三室SSS	3		0					
足利FC	0				1			

女子

ブレナスなでしこリーグ

●10月3日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和	37	12	1	1	40	6	+34
2	ベレーザ	37	12	1	1	36	12	+24
3	マリーゼ	28	9	1	4	27	15	+12
4	I 神戸	27	9	0	5	28	16	+12
5	新潟 L	22	7	1	6	29	20	+9
6	湯郷ベル	19	6	1	7	21	26	-5
7	ジェフ L	16	5	1	8	22	31	-9
8	福岡 AN	7	2	1	11	12	31	-19
9	AS 狭山	7	2	1	11	6	44	-38
10	伊賀 FC	5	1	2	11	8	28	-20

ブレナスなでしこリーグカップ

7月10日～8月22日 西が丘サッカー場他

Aグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	浦和	12	4	0	0	+6
2	マリーゼ	9	3	0	1	+7
3	新潟L	6	2	0	2	+1
4	ジェフL	3	1	0	3	-6
5	伊賀FC	0	0	0	4	-8

準決勝 浦和レッズ 3-2 INAC 神戸

決勝 浦和レッズ 2-3 日テレ・ベレーザ

※日テレ・ベレーザが初優勝

Bグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	ベレーザ	10	3	1	0	+9
2	神戸	8	2	2	0	+4
3	湯郷ベル	6	2	0	2	-3
4	福岡AN	4	1	1	2	+1
5	AS狭山	0	0	0	4	-11

2010年度 第16回関東女子サッカーリーグ

●9月15日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	早稲田大学	34	11	1	0	42	6	+36
2	日テレ・メニーナ	21	6	3	2	28	15	+13
3	浦和レッズ Jr.Y	18	5	3	3	17	14	+3
4	武蔵丘短期大学	16	5	1	5	21	13	+8
5	FC PAF	15	5	0	7	19	32	-13
6	関東学園大学	14	4	2	5	15	15	0
7	神奈川大学	13	4	1	7	21	34	-13
8	東京女子体育大学	1	0	1	11	2	36	-34

第15回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

8月6日～10日 Jヴィレッジ

グループA

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和レッドダイヤモンズJr.ユース	9	3	0	0	15	0	+15
2	アルビレックス新潟レディースU-18	6	2	0	1	7	5	+2
3	アギラス神戸ジュニアユース	3	1	0	2	3	11	-8
4	伊賀フットボールクラブフロイライン	0	0	0	3	1	10	-9

準決勝 浦和レッズ 3-0 神村学園中等部

決勝 浦和レッズ 1-0 青崎サッカークラブ

※浦和レッズジュニアユースレディースが3連覇

第 8 回 JFA 関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会

8月21日、22日 草津町総合グラウンド

順位	グループBリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	吉見エスカーフC.	9	3	0	1	20	4	+16

順位	グループCリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	白岡・菁莪キッカーズ女子	8	2	2	0	3	0	+3

順位	グループDリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	川越女子ジュニアS.C.	8	2	2	0	6	2	+4

順位	グループEリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	戸南南ボンパーズFC	12	4	0	0	17	0	+17

※戸南南ボンパーズがグループEで優勝

シニア

第10回全国シニア(60歳以上)サッカー大会

5月28日～30日 藤枝総合運動公園サッカー場他

グループB

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	埼玉シニア 60	9	3	0	0	8	0	+8
2	静岡県選抜 60	6	2	0	1	2	1	+1
3	函館四十雀FC 60	1	0	1	2	0	4	-4
4	あしがるサッカー富山	1	0	1	2	0	5	-5

準決勝 埼玉シニア60 0-0 兵庫県シニア選抜60
(3PK1)

決勝 千葉四十雀サッカークラブ60 1-0 埼玉シニア60

※優勝は千葉四十雀サッカークラブ60

シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル

5月28日～30日 藤枝総合運動公園サッカー場他

グループC

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	埼玉シニア 70	7	2	1	0	9	3	+6
2	兵庫県シニア選抜 70	7	2	1	0	5	1	+4
3	名古屋 500クロウズクラブ	3	1	0	2	6	7	-1
4	えひめ四十雀FC	0	0	0	3	2	11	-9

日本スポーツマスターズ2010 サッカー競技関東地区予選会

6月20日 山梨県・押原公園サッカー場

1組・1回戦 **川口シニア 0-1 高麗サッカークラブ**

※第1代表は高麗サッカークラブ、第2代表は山梨マスターズ

第9回全国シニア(50歳以上)サッカー大会

6月25日～27日 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場他

Cグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	静岡県選抜50	7	2	1	0	7	2	+5
2	長野SFC	4	1	1	1	3	4	-1
3	鳥取県シニアSC50	3	1	0	2	3	4	-1
4	NTTシニア	3	1	0	2	3	6	-3

※優勝は東京シニア高麗サッカークラブ50

フットサル

関東フットサルリーグ1部

●10月2日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
6	アルティスタ埼玉	12	3	3	6	26	34	-8

関東フットサルリーグ2部

●10月2日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
8	岩槻FC/ティーゼットケー	12	4	0	6	33	35	-2

第1回関東フットサル女子リーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ファンレディース	16	5	1	0	34	4	+30
2	バルドラール浦安ラスボニータス	14	4	2	0	20	7	+13
3	アマレーロ/峰FC	10	3	1	2	16	14	+2
4	FFCエストレラノーボ埼玉	7	2	1	3	14	14	0
5	セウパレータA&S	6	1	3	2	16	20	-4
6	ポルボレッタフットサル	5	1	2	3	15	24	-9
7	マルバラガッツァFC	0	0	0	6	3	35	-32

大会記録●選抜

関東U-16トレセンリーグ 2010

第1節 4月29日 **埼玉県 0-3 千葉県**

第2節 5月23日 **埼玉県 5-1 山梨県**

第3節 7月19日 **埼玉県 4-0 茨城県**

※この結果から埼玉県は2位となり、関東ブロック大会では5位の栃木県と対戦する

少女サッカー埼玉カーニバル 2010

6月20日 与野八王子グラウンド

パディ	1	横浜ウインズ (神奈川)	2	2
	1	埼玉県東部地区トレセン	1	2
	2	パディF.C. (東京)	0	3
	3	埼玉県西部地区トレセン	1	ウインズ 0
	2	武蔵野S.C. (東京)	0	松戸 1-1 延長 2-0
	1	埼玉県南部地区トレセン	6	3
西部	0	松戸F.C. (千葉)	2	0
	9	埼玉県北部地区トレセン	1	1

第15回首都圏少女サッカー交流大会

9月23日 赤羽スポーツの森公園競技場

1回戦 **埼玉県 1-1 栃木県**
(2PK4)

順位決定戦 **埼玉県 4-0 茨城県**

※決勝など4試合が荒天のため中止

●「市町協会理事長会議」開催

7月10日、さいたま市浦和会館において「市町協会理事長会議」が開催された。横山副会長から、SFAミッションの進捗状況と市町協会を第一次承認とする登録制度改革について提案があった。質疑応答としては、種別ごとに異なる東西南北4地区を統一すべきだという意見をいただいた。

また参加いただいた市町協会からは、それぞれの組織としての現状を説明していただいた。ミッションで掲げる「組織の拡充」に向けて、本格的な検討を始めたいと考えている。

●「市町協会審判担当者会議」開催

7月11日、さいたま市浦和会館において「市町協会審判担当者会議」が開催された。岡田審判委員長から、全国審判委員長会議の報告が行われた。その中でユース審判員の活用が話題となったとのこと。JFAとしては、4種の試合を中心に活用していきたいという見解を示した。これに伴い、岡田委員長からは市町協会で種別を総括して、縦の関係を作ってほしいという要望があった。また、3級インストラクターの設置・育成が承認され、審判員の資質向上に向けて、大きな前進があったことが紹介された。そして、「手の不正使用」に関するDVDを参加者全員で見て、改めて確認を行った。

●北部地域連絡協議会が発足

8月1日に、北部地域連絡協議会（柳川佳久会長）が発足した。SFAと各市町協会との情報の共有と意思の疎通を図るべく、そして県北部のサッカー発展のためにご尽力いただきますようお願いいたします。

●第1回運営会議開催

8月21日、北浦和カルタスホールにおいて、今年初めての運営会議が開催された。議題は、2ページで紹介した各専門・種別委員会の「ねらい・目標・具体策」について。多くの委員会については、この会議で確認がなされ、全体的な共有が図られた。当面の指針として認知していただき、目標達成に向けて取り組んでいただきたい。以下は、主な内容について。

◇フェアプレー・規律委員会

フェアプレー日本ーを目指す(3ページ参照)

◇技術委員会

種別と協力しながら、大会の整理を行う。トレセンのあり方の再考も。

◇総務委員会

財団の公益法人化に向けて

◇審判委員会

各市町協会へのインストラクター設置について

◇科学委員会

ガイドブックの配布、講習会開催、医事委員会との連携

◇広報委員会

連盟単位でのタウンミーティングの開催



インフォメーション

●祝、JFAサッカー殿堂入り

9月10日、JFAにおいて「第7回日本サッカー殿堂掲額式典」が開催された。県内関係者として、鈴木良三氏（元日本代表、浦和西高校→立教大学→日立）、浅見俊雄氏（元JFA審判委員長他、浦和高校→東大）、そして落合弘氏（浦和レッズハートフルクラブ・キャプテン。元日本代表、浦和市立高校→東芝→三菱）の三氏が殿堂入りを果たした。

鈴木氏「浦和に生まれてよかった。（当時）浦和の4校で切磋琢磨してきたのがよかったと思います。感謝です」

浅見氏「光栄です。また、面はゆいものです。埼玉でサッカーをやり始めて、今日があります」

落合氏「私の回りにいていただいた皆さんに感謝します。今回、6人中3人が浦和の出身というのも誇りに思っています。まだお蔵入りじゃありません（笑）」



左3人目から落合弘氏、鈴木良三氏、高円宮妃殿下、浅見俊雄氏

●サッカー界初、スポーツグランプリ表彰

さいたま市在住の原田宏氏（91）が、この度、日本体育協会の「第5回日本スポーツグランプリ」を受賞された。この賞は、長年にわたりスポーツを続けて顕著な功績を挙げた高齢者競技者に贈られるもので、サッカー界では初の受賞となった。



原田氏は旧制浦和中学時代からサッカーを始め、現在もシニアで現役のプレーヤーとして活躍中でいらっしゃる。

編集後記

●今年の夏は、真夏日の日数が71日と、観測史上過去最多日数となった。とにかく暑かった。さすがに彼岸に入り、朝晩は秋の装いになってきた。さて、好きなサッカーをこつこつとやってきたつもりですが、このたびJFAの理事に就任致しました。地方FAの声をJFAに反映すべく努力してまいります。（高橋）
●9月1日と2日、友人からの誘いで稲刈りに行ってきました。暑い日差しが照りつける中での作業でしたが、稲は徐々に秋色を増し稲刈りには丁度良い時期を向かえていました。稲作文化と人との交流に触れることができ、疲れましたが有意義な2日間でした。（森山）

●新生日本代表が埼玉からスタートします。ブラジルに向かって応援しましょう。（坂庭）
●今月、京都旅行します！ 清水寺など王道を観光するか、鞍馬や貴船方面に挑戦するか悩み中。どちらにしても美味しいものを食べて来たいと思います♪ 食欲の秋到来♪（こいち）
●先日、とあるフェスティバルに誘われ代々木公園へ。午前中はそうでもなかったのが、お昼近くには会場のあちこちに行列が……。その頃帰路に着いて、楽しく帰ってきました。（かのう）
●春のマラソンに引続き、さいたまシティマ

ラソンにエントリーしました。よって、これから走ります（笑）。（小豆澤）

●兄の子供が生まれました！男の子でした！とても不思議な気持ちです……兄同様に縦も横も大きくなるでしょう（笑）。初対面が楽しみです！（佐々木）

●暑い夏が終わりを告げスポーツの秋がやってきました。4種リーグも後期が始まりました。

「戦術は自分たちで決めるのではなく、相手に対して作るもの。自分たちを信じないとサッカーなんてできない。だからこそ賢くやる」
by オシム（栗島）

●日本代表、9位～FIFAワールドカップ™ 2010南アフリカ大会～

決勝トーナメントに進出した日本代表は、1回戦でパラグアイと対戦。0対0から延長でも勝負は決まらず、PK戦に突入し、結果5対4で敗れてしまった。目標としていたベスト4は達成できなかったが、日本中にサッカー熱を再びもたらしてくれた。

●人事

JFAの新理事に、高橋明事務局長が関東選出理事として就任した。なお、本県出身の犬飼基昭会長が退任し、小倉純二副会長がJFA会長に就任した。

●埼玉県女子サッカー連盟U-12部会に改組

9月15日、独自の組織として活動していた少女連盟（U-12）が、改めて女子連盟に加わり、U-12部会として活動することになった。

●「ユニクロサッカーキッズ！in熊谷スポーツ文化公園」開催

9月26日にJFAキッズプログラムの一環として、「ユニクロサッカーキッズ！in熊谷スポーツ文化公園」が開催された。当日は午前午後で1000人以上ものキッズ（6歳以下）が集まり、サッカーを楽しんだ。



●「埼玉県社会人サッカー連盟創立30周年記念祝賀会」開催

去る10月3日、ラフレさいたまにおいて、「埼玉県社会人サッカー連盟創立30周年記念祝賀会」が開催され、約250名もの関係者が集まり、歓談した。野沢昌弘会長のあいさつの後、表彰式、横山謙三SFA副会長がワールドカップを振り返る講演と続いた。「今後、40周年、50周年を目指し、社会人連盟が更に発展していくために、皆様のご支援をよろしくお願い致します」（野沢会長）。

